

らくらくラテン語 中級編

カエサル『ガリア戦記』第1巻 第10段・第11段解説



Justus 著

欧州経済新聞出版部

Oushu Keizai Shimbun (Europäische Wirtschaftszeitung) GmbH

この電子書籍の著作権は、該当する国内法及び国際条約の著作権規定により、国際的に保護されています。無断複製・無断転載・無断改変などの著作権侵害行為は、関係国の法令に基づき、処罰等の対象となります。

表紙写真：パラティーナ門（Porta Palatina）—イタリア・トリノ市。1世紀頃。
門前に立っているのはカエサルとアウグストゥスの像。
撮影：Justus（© 2005 Justus. All rights reserved.）

© 2005 Justus. All rights reserved.

© 2005 Oushu Keizai Shimbun (Europäische Wirtschaftszeitung) GmbH.
All rights reserved.

Produced and published in Germany.

<http://www.oushu.net/>

はじめに

今年（2005年）に入ってからモチベーションがあがらず、尻切れトンボのような状態になってしまっていた「らくらくラテン語 中級編」ですが、このような形で兎にも角にも復活できたことを幸いに思います。

お休みしている間、「ガリア戦記のつづきが読みたい」というご催促を、たくさんの方々からいただきました。皆さん待望されていることと存じつつ、かくも長きに亘ってお休みしてしまったことを、深くお詫び申し上げます。

また、このような長い休養期間にもかかわらず、暖かくお待ちくださいました皆さまには、心よりお礼を申し上げます。

メールマガジン「らくらくラテン語」に連載してきたこの「中級編」ですが、実は、複数の読者の方から「内容が優れているので、出版してはどうか」というご提案をいただきました。私が心血を注いで綴った力作に、このような評価をいただけましたことは、非常に光栄なことで、たいへん嬉しく思います。

ただ、本当に商業出版するとなると、一体どれくらいの読者層がいるのか、ということが重要になってきます。日本においてはラテン語自体があまりメジャーな言語ではありませんので、そのまた中級者となると、さらに読者層が限られていることは否めません。現段階では、私のガリア戦記の講釈にお金を払って下さる方が一体どれくらいいらっしゃるのか、私自身、見当もつきません。

そこで、まずは電子書籍として出版してみることにしました。これで、もし相当数が捌けるようでしたら、商業出版の見込みもあるということですし、そうでない場合には、商業出版の見込みは余りないということでしょう。いわば一種の効果測定です。

ところで、この「電子出版」という形態には、私自身結構注目しています。海外に住んでいると、書籍の購入に不便を感じます。アマゾンで海外配送してもらっていますが、買ってから届くまでに時間もかかりますし、送料もばかになりません。すべての書籍が電子書籍だったら、さぞ便利だろうなあと思います。

私の場合、そもそもメルマガを創刊したきっかけが、「日本では、ラテン語を学べる所自体がきわめて限られていて、学びたくても学べない方がたくさんいらっしゃる。また、ヨーロッパに来てラテン語の重要性に気づき、これを学びたくなくても、日本語で学ぶ機会はない。そういう方々のために、世界中のどこにいても日本語でラテン語を学ぶ機会を保障したい」というところから来

ていますので、世界中から即時にダウンロードできるこの電子出版という形態は、まさにうってつけだと感じています。

また、以上のような背景がありますので、今後、「電子出版」という形態はどんどん伸びていくと考えています。巷間に流布する電子書籍のうち、本書のような学問的な内容のものはまだまだ少いようですが、本書に勇気づけられて、もっと多くの優れた電子書籍が出版されるといいな、と思っています。

最後に、本書の電子出版を引き受けて下さった欧州経済新聞社と、システムを提供して下さった InfoCart 様には、心よりお礼を申し上げます。

それでは、講義をごゆっくりとお楽しみください。

平成 17 年 12 月
ラインラントにて

Justus

らくらくラテン語

<http://www.rakuraku-latin.net/>

※重要：「らくらくラテン語」がはじめての方へ

この電子書籍では、カエサル『ガリア戦記』の第 10 段・第 11 段を扱います。第 1 段から第 9 段は、上記ウェブサイトにて無料で公開されています。まずは、そちらをじっくりとご覧いただき、講義のポリシーとクオリティを十分ご確認いただいた上で、本書をご購入ください。本書の解説も、上記第 1 段から第 9 段までと同様のスタイルを踏襲しています。

ご感想・ご声援のメールはこちらから！

http://www.rakuraku-latin.net/epistulam_scribo.php

目次

第 10 段序説	1
第 10 段テキスト	2
第 10 段解説	3
第 11 段テキスト	12
第 11 段解説	13
おわりに	22
主要参考文献	23

ご案内

ラテン文法については、以下のサイトをご参照ください：

ラテン語 (lingua Latina)
<http://www.lingua-latina.org/>

欧州の地形図については、グーグルアースのご利用をお勧めします（無料でダウンロードできます）：

Google Earth
<http://earth.google.com/>

〔サンプルにつき以下省略〕